

## 埼玉県臨床細胞学会会誌投稿規定

- 1) 投稿者の資格：投稿者（および共著者）は、原則として埼玉県臨床細胞学会会員に限ります。ただし特別講演などの依頼原稿は別扱いとなります。
- 2) 掲載文：本誌に掲載するものは、埼玉県臨床細胞学会学術集会の一般演題や、特別講演、スライドカンファレンス、シンポジウム等の記録、一般の原著論文や症例報告、短報、総説等の臨床細胞学の進歩に寄与しうるもので、ヘルシンキ宣言（ヒトにおける biomedical 研究に携わる医師のための勧告）を遵守して下さい。そのほか、各種集会の議事録、県内セミナー や勉強会の記録、連絡事項等の会員相互の協力や交流に役立つ記事も含めます。
- 3) 著作権：論文著作権は本学会に帰属し、電子公開を承諾するものとします。セルフ・アーカイブ（自身のホームページ、所属機関のリポジトリなど）においては表題、所属、著者名、内容抄録の公開は学会誌の発行の後に認められます。
- 4) 利益相反：論文投稿に際し、著者全員の利益相反申告書を提出して下さい。利益相反状態がない場合は、論文末尾、参考文献の直前の場所に「筆者らは、開示すべき利益相反状態はありません」の文言を挿入して下さい。
- 5) 提出原稿の様式：原稿は、文章、表、図を電子ファイルで投稿して下さい。また、印刷した用紙を 3 セット添えて下さい。
- 6) 論文の採否：提出された原著、症例報告、短報、総説等の論文は、査読を経た上で編集委員会にて採否を決定します。
- 7) 校正：著者校正は、初校で行いますが、校正時の大幅な変更や加筆は避けて下さい。校正した原稿は指定期限内に返却して下さい。
- 8) 原稿の返却：投稿された原稿一式は、返却致しません。一定期間保管後に適切に処分します。
- 9) 掲載料：刷り上がり 5 頁までは無料とし、それ以上は著者の実費負担とします。ただし依頼原稿は例外とします。
- 10) 別刷：PDF ファイルを無料配布致します。
- 11) 原稿の送付先：担当編集委員宛

## 原稿作成の手引き

- 1) 原稿の書式
  - a) 電子ファイルで保存する。以下のファイル形式を用いる。  
Word, TXT, JPEG, PowerPoint, Excel
  - b) 現代かなづかいの和文とし、ワープロで A4 縦長の用紙に横書き 1 行 40 字、1 頁 20 行で 800 字詰めとする。
  - c) 度量衡単位は cm, mm,  $\mu$ ,  $cm^2$ , ml, l, g, mg など国際単位系に準拠してください。
  - d) 外国人名および適当な日本語のない疾患名、器具名、薬品名や術語などは原字をそのまま用いて下さい。大文字で始めるものは、人名、固有名詞、Penicillin などの商品名、ドイツ語名詞、文の最初にきた欧語に限って下さい。
  - e) 略語を用いる場合は、最初に完全な用語を記し、その後に（以下、○○）と略語を記入し

て下さい。

2) 原稿の形式

- a) 原稿の構成は、①内容抄録（原著、症例、一般講演・スライドカンファレンス）、キー・ワード；5語以内（原則として第1語は対象、第2語は方法、第3語以下は内容を暗示する単語とし、日本語表記が可能なものは日本語とする）、②本文、③謝辞、④文献、⑤図表の説明、の順に記述し、原稿用紙下欄には通しの頁数を入れて下さい。
- b) 表紙には和文題名、著者名（漢字およびローマ字）（MD、CT、MTの別）、所属（漢字およびローマ字）、郵送先住所、電話番号、別刷り希望数を記入して下さい。
- c) 内容抄録は500字以内にまとめ以下のような小見出しをつける  
    原著：目的、方法、成績、結論  
    症例報告：背景、症例、結論
- d) 原稿の枚数：1枚800字詰めとして、本文に文献を含めて症例報告（一般講演・スライドカンファレンス・ワークショップ講義を含む）は4枚以内（刷り上り3～4頁）、ワークショップテーブルアトラスの原稿は2枚以内（同2頁）を目処として下さい。一般原著、特別講演寄稿は特に制限を定めません。

3) 図・表

- a) 図・表はそれぞれ番号をつけ、簡単な和文または英文の説明を付記してまとめて添付して下さい。写真は図として下さい。
- b) 光顕写真の写真説明文には染色方法と対物レンズの倍率を入れて下さい。電顕写真ではスケールを写真に入るか写真説明文に倍率を記載して下さい。
- c) 図表の解像度は雑誌掲載サイズで300dpi以上が目安です。

4) 文献

- a) 主要のもののみを挙げることとし、原著は20編以内、症例報告は5編以内として下さい。総説は特に編数の制限を定めません。
- b) 引用した順に番号をつけて列記し、その番号を本文中の該当箇所の右肩に記入して下さい。
- c) 文献表記はバンクーバー・スタイルに、誌名略記は日本医学図書館協会編：日本医学雑誌略名表およびIndex medicusに準じます。
- d) (雑誌の場合)著者名（和名はフルネームで、欧文名は姓のみをフルスペル、その他はイニシャルのみで6名まで表記し、6名をこえる場合はその後を，“.他”，“et-al”と略記する）。標題（フルタイトルを記載）。雑誌名発行年（西暦）；巻：頁～頁。  
(例) 羽田 均, 磯部 宏, 川上義和. 原発性肺腺癌の分化度, 組織亜型分類および細胞亜型分類と核DNA量との関係. 日臨細胞誌 1989 ; 28 : 477 ~482.  
(例) Bibbo M, Dytch HE, Puls JH, Bartels PH, Wied GL. Clinical applications for an inexpensive, microcomputer-based DNA-cytometry system. Acta Cytol 1986 ; 30 : 372 ~378.
- e) (単行本の場合)著者名、標題、発行地：発行所、発行年（西暦）。なお、引用が単行本の一部である場合には標題の次に編者名、単行本の標題を記し、発行年の後に：頁～頁。を記載する。  
(例) 高濱素秀. 平滑筋組織の腫瘍. 飯島宗一, 他編. 現代病理学大系 第20巻 軟部

腫瘍. 東京 : 中山書店, 1992 : 175 ~187.

(例) Shimosato Y, Kodama T, Kameya T, Morphogenesis of peripheral type adenocarcinoma of the lung. In : Shimosato Y, Melamid MR, Nettesheim P, editors. Morphogenesis of lung cancer, Vol I, Boca Rayton : CRC press, 1982 : 65~89.